

公 益  
社団法人 宮城県看護協会

# 仙台北支部報告

第 76 号

発 行  
公 益  
社団法人 宮城県看護協会  
仙台北支部  
編集責任者

✿✿✿✿✿ 新 年 度 を 迎 え て ✿✿✿✿✿

仙台北支部支部長 小畠由美

陽春の候、仙台北支部会員の皆様には、日頃より支部活動にご協力頂き感謝しております。

新年度、新入職者を迎える賑やかな日々をお過ごしのことと存じます。

さて、令和5年度の仙台北支部活動は、5月8日以降コロナ禍前の日常に戻り、本格的に実施することができました。5月13日4支部合同で「看護のひろば」を仙台青葉短期大学にて開催、10月交流会では東北大学スキル・スキルスラボで体験型学習会、昨年に引き続き11月には仙台市介護予防月間イベント元気力フェスティバルへ「まちの保健室」として参加いたしました。12月看護管理者ネットワーク会議では一部講演、二部は情報交換会でハイブリッド形式でしたが、参集頂いた方が多く、久々に対面式で行い、活発な情報交換となりました。改めて、交流会等で人々が集い語り合うことによる、触れ合う大切さや暖かさを感じた1年になりました。

令和6年度の支部総会は、昨年同様令和6年5月11日（土）役員のみで開催する予定です。会員の皆様には委任状のご提出をお願いいたします。

また、今後の予定といたしましては、5月には4支部合同で開催する「看護のひろば」や「まちの保健室」への参加、「交流会」、「看護管理者ネットワーク会議」等で親睦を深め、より活気に満ちた支部活動となるよう企画したいと考えております。会員の皆様には、ぜひご参加して頂きたいと存じます。

今年度も引き続き、仙台北支部へのご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

# ※※※※※※※ 令和5年度 北支部報告 ※※※※※※

## 1. 組織に関する事項

(令和5年12月28日現在)

### (1)会員数 2585名

内訳 保健師…… 53名  
助産師…… 157名  
看護師…… 2362名  
准看護師…… 13名

## 2. 運営に関する事項

### (1)令和5年度支部総会

期日：令和5年4月21日(金)  
場所：宮城県看護協会会館  
看護研修センター  
中ホール

出席者数：出席者 20名

委任状 1856名

議事 ① 令和4年度庶務報告

職能委員会報告

教育委員会報告

会計報告

令和5年度

事業計画・予算審議案

② 令和5年度役員委員選出

## 3. 事業に関する事項

### (1)会員教育 (教育委員担当)

#### 1) 交流会

期日：令和5年10月28日(土)

場所：艮陵会館  
東北大学クリニカル・  
スキルスラボ

内容：「急変対応」「採血」「静脈血管確保」「褥瘡ケア」「導尿・尿管留置」のトレーニング、意見交換会

参加人数：19名

### (2)看護行事事業 (職能委員)

#### 1) 「まちの保健室」

仙台市介護予防月間「元気力アップフェスティバル」出展  
期日：令和5年11月12日(日)

場所：仙台市シルバーセンター

参加人数：142名

内容：健康相談、血圧測定、  
体組織測定、肌年齢測定など

#### 2) 管理者ネットワーク会議

期日：令和5年12月8日(金)

場所：宮城県看護協会会館  
看護研修センター

Web開催

第一部 14:00～15:00

内容：講演

「第8次宮城県地域医療計画について」

講師1：土谷芳和先生

宮城県保健福祉部

医療政策課

医療政策専門監

(医療計画全般)

講師2：大宮美希子先生

宮城県保健福祉部

医療人材対策室

技術補佐(看護関係)

第二部 15:00～15:45

仙台北支部会員看護管理者による情報交換会

テーマ：

地域包括ケアシステム構築のため、自施設が取り組んでいる内容について

参加人数：第一部 40名

第二部 8名

### (2)広報

仙台北支部報告発行

令和5年4月1日 第75号

仙台北支部活動報告

宮城県看護協会ホームページ

掲載：6月・12月

## 令和5年度 役員会・委員会報告

	開催日	活動内容	活動場所
役員会	R 5. 4.21	新旧役員引き継ぎ 支部長会報告・各役員会活動について	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 6. 9	支部長報告・各委員会活動報告	
	R 5. 7. 28	支部長報告・各委員会活動報告	
	R 5. 9. 22	支部長報告・各委員会活動報告	
	R 5. 12. 8	支部長報告・各委員会活動報告	
	R 6. 2. 9	支部長報告・各委員会活動報告 76号広報発行準備・令和6年度総会準備	
職能委員会	R 5. 4.21	新旧役員引き継ぎ	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 7.18	仙台市介護予防月間関係団体会議参加	仙台市シルバーセンター
	R 5. 9.22	「まちの保健室」事業打ち合わせ・準備	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 11.10	「まちの保健室」物品借用	宮城県看護協会会館
	R 5. 11.12	「まちの保健室」 元気力アップフェスティバル出展	仙台市シルバーセンター
	R 5. 11.14	「まちの保健室」物品返却	宮城県看護協会会館
	R 6. 1.23	仙台市介護予防月間関係団体会議参加	仙台市シルバーセンター
	R 6. 2. 9	令和5年度活動のまとめ	宮城県看護協会会館 看護研修センター
教育委員会	R 5. 4.21	新旧役員引き継ぎ	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 6. 9	交流会企画	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 7. 28	交流会準備	東北大学クリニカル・スキルスラボ
	R 5. 8. 22	第一回交流会打ち合わせ	東北大学クリニカル・スキルスラボ
	R 5. 9. 22	管理者ネットワーク会議企画・準備	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 10. 27	第二回交流会打ち合わせ	東北大学クリニカル・スキルスラボ
	R 5. 10. 28	交流会	東北大学クリニカル・スキルスラボ
	R 5. 12. 8	管理者ネットワーク会議 (第一部オンライン講演会、第二部情報交換会)	宮城県看護協会会館 看護研修センター
推薦員会	R 6. 2. 9	交流会・管理者ネットワーク会議・反省会	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 4.21	新旧役員引き継ぎ	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 5. 9.22	令和6年度役員・委員の推薦について	
	R 5. 12. 8	令和6年度役員・委員推薦者の確認 今後の活動内容の確認	

# ※※※※※※※※ 令和5年度支部活動精算書 ※※※※※※※

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

## 1 支部活動収入の部

(単位：円)

科 目	①予算額	②精算額	差異(①-②)	備 考
I 支部活動収入	640,000	477,892	162,108	
①本年度支部活動費（当初）	640,000	477,892	162,108	
II 雜収入	0	0	0	
	0	0	0	
			0	
			0	
収入 計 (A)	640,000	477,892	162,108	

## 2 支部活動支出の部

支出の部：△印は予算より支出増

科 目	①予算額	②精算額	差異(①-②)	備 考
I 公益目的事業会計	199,000	65,910	133,090	
①まちの保健室事業	126,000	20,340	105,660	
②看護週間事業	0	0	0	
③教育研修事業	14,000	40,110	△ 26,110	
④ネットワーク事業	33,000	5,460	27,540	
⑤その他	26,000	0	26,000	
II 収益事業等会計	108,000	136,621	△ 28,621	
①広報活動（会報）	108,000	136,621	△ 28,621	
III 法人会計	333,000	275,361	57,639	
①支部総会	78,000	49,460	28,540	
②支部役員会	155,000	183,380	△ 28,380	
③支部委員会	100,000	12,000	88,000	
④支部事務費	0	30,521	△ 30,521	
支出 計 (B)	640,000	477,892	162,108	
収支差額(C)=(A)-(B)	0	0	0	

# ※※※※※※※ 令和6年度支部活動計画書 ※※※※※※※

## 【地区支部の現状と課題】

令和5年度は、5月8日新型コロナウィルス感染症の5類への移行後、通常通り「看護のひろば」や「交流会」、「まちの保健室」の支部活動を行うことができた。また、看護管理者ネットワーク会議の情報交換会では参考の方々も多かった。改めて、人と人が集うことで、関わり合うことの大切さや繋ぐことの重要性を学んだ。

令和6年度は、更なる会員獲得に向けた魅力ある支部活動と、看護管理者ネットワーク会議を通じ、情報交換や課題を共有し連携促進を図っていきたい。

## 【令和6年度活動方針】

1. 支部内看護管理者ネットワークを通じ、連携促進を図る
2. 看護のひろばや研修会等を通じて、会員として活動を推進するとともに新会員の獲得を行う。
3. まちの保健室事業を通じ、地域住民と交流を図り、健康増進に貢献する。

1 組織運営に 関すること	(1) 支部総会 日時：令和6年5月11日（土） 場所：宮城県看護協会 (2) 役員会 5回開催（6月、7月、9月、12月、2月） (3) 委員会 5回開催（6月、7月、9月、12月、2月） (4) 宮城県看護協会と各支部合同会議 日時：令和 年 月															
2 看護の質の 向上に関す ること	(1) 教育研修 日時：令和6年10月予定 場所：未定 講演テーマ：未定 (2) ①看護管理者ネットワーク会議 日時：未定 テーマ：未定															
3 地域活動	(1) 看護週間行事「看護のひろば」 日時：令和6年5月18日（土） 場所：A E R 2階（仮） (2) まちの保健室開催 日時：令和6年11月予定															
4 その他	(1) 支部活動の広報 ①支部だよりの発行（年1回） ②宮城県看護協会ホームページ掲載（随時）															
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支部活動経費会計区分</th> <th>前年度予算</th> <th>当年度予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 公益目的事業会計（研修・まちの保健室等）</td> <td>199,000円</td> <td>233,000円</td> </tr> <tr> <td>II 収益事業等会計（支部だより発行等）</td> <td>108,000円</td> <td>162,000円</td> </tr> <tr> <td>III 法人会計（総会・委員会等）</td> <td>333,000円</td> <td>365,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>640,000円</td> <td>760,000円</td> </tr> </tbody> </table>	支部活動経費会計区分	前年度予算	当年度予算	I 公益目的事業会計（研修・まちの保健室等）	199,000円	233,000円	II 収益事業等会計（支部だより発行等）	108,000円	162,000円	III 法人会計（総会・委員会等）	333,000円	365,000円	計	640,000円	760,000円
支部活動経費会計区分	前年度予算	当年度予算														
I 公益目的事業会計（研修・まちの保健室等）	199,000円	233,000円														
II 収益事業等会計（支部だより発行等）	108,000円	162,000円														
III 法人会計（総会・委員会等）	333,000円	365,000円														
計	640,000円	760,000円														

# ※※※※※※※※ 令和6年度支部活動予算書 ※※※※※※※

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

## 1 支部活動収入の部

(単位:円)

科 目	①当年度予算	②前年度予算	差異(①-②)	備 考
I 支部活動収入	760,000	640,000	120,000	
①支部活動費	760,000	640,000	120,000	
			0	
II 雜収入			0	
			0	
			0	
収入計(A) (= I + II)	760,000	640,000	120,000	

## 2 支部活動支出の部

科 目	①当年度予算	②前年度予算	差異(①-②)	備 考
I 公益目的事業会計	233,000	199,000	34,000	
①まちの保健室事業	109,000	126,000	△ 17,000	
②看護のひろば事業	0	0	0	
③研修事業	60,000	14,000	46,000	
④ネットワーク事業	49,000	33,000	16,000	
⑤その他	15,000	26,000	△ 11,000	
II 収益事業等会計	162,000	108,000	54,000	
①広報活動(会報)	162,000	108,000	54,000	
III 法人会計	365,000	333,000	32,000	
①総会	78,000	78,000	0	
②役員会	171,000	155,000	16,000	
③委員会	100,000	100,000	0	
④事務費	16,000	0	16,000	
⑤その他	0	0	0	
支出計(B) (= I + II + III)	760,000	640,000	120,000	

# ※※※※※※※※※※ 令和5年度交流会 ※※※※※※※※※

## 「診て・触れて・学ぼう」

東北福祉大学健康科学部保健看護学科  
仙台北支部教育委員 高根秀成

令和5年10月19日（土）に、東北大学クリニカル・スキルスラボにて「仙台北支部会員と交流を図り、日ごろの実践について情報交換を行う」ことを目的に、仙台北支部教育委員主催の交流会を開催いたしました。

交流会には、年齢問わず病院勤務や施設勤務の看護師を中心に19名の参加をいただきました。交流会では最初にスキルスラボの須藤先生より施設の紹介があり、その後、BLSのトレーニングや呼吸音・心音聴取シミュレータを使用したトレーニング、さらに採血・血管確保、導尿、褥瘡ケアのトレーニングと盛りだくさんの内容で交流会が進みました。また、トレーニングでは、参加者それぞれが意見を出し合い、日頃実践する機会の少ない手技などについて技術の確認をされていました。

交流会のまとめの時間では、他施設に勤務されている方との交流の時間を設け、「他の病院で働く方との交流はとても楽しく勉強になりました。」とのご意見を頂きました。さらに、交流会後のアンケートでは「リラックスできる内容で、取り組みやすかった。また参加したい。」との回答を頂きました。新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりに対面で実施した交流会でしたが、参加者の皆様の様子から、会員の皆様と直接交流できることの貴重さを改めて実感することができました。



## ※※※※※ 令和5年度まちの保健室 ※※※※※

仙台北支部 職能委員

大浦 晴美

去る11月14日（日）に元気力アップフェスティバルに『まちの保健室』として出展させていただきました。仙台市介護予防月間のイベントで仙台市シルバーセンターにて開催されました。私たちは血圧測定、活力測定、体重、背筋力測定を実施し来場された方々が一時は列ができお待ちいただく様子もありました。延べ142名の方にご利用いただきました。

測定以外にもいろいろな相談などもあり「看護師さんとこんなにゆっくり喋れるなんて来て良かった」などのお声もいただき嬉しく感じました。初めに緊急時の対応など話し合いはしなかったのですが途中、具合の悪くなった方がおり委員全員で緊急対応できておりさすが看護師と言う場面もありました。ですが、今回の緊急対応については次回への教訓としさらに安心してご来場いただけるよう努めていかなければいけないと感じております。このように、職場以外で看護師として皆さんに接する機会をいただき地域貢献や看護の役割、活動を広く知つていただきたいと思いました。



## ※※※※※ 令和5年度看護管理者ネットワーク会議 ※※※※※

仙台厚生病院

櫻井 奈美

令和5年12月8日（金）看護管理者ネットワーク会議をハイブリット形式で開催いたしました。第一部は『第8次宮城県地域医療計画について』と題し、宮城県保健福祉部医療政策課医療政策専門監 土谷芳和氏と、宮城県保健福祉部医療人材対策室技術補佐 大宮美希子氏2名のご講演、第二部は支部会員看護管理者8名が参加し、『地域包括ケアシステム構築のため、自施設が取り組んでいる内容について』とし情報交換会を行いました。

講演では、圏域別必要病床数の見通しや医療提供体制への施策、看護職員の推移等、今後宮城県が取り組んでいく課題等を学ぶことが出来ました。

情報交換会では、急性期・慢性期病院、介護施設、訪問看護ステーション等の看護管理者との情報共有を行いました。地域包括ケアシステムとして、すでにその地域に携わる医療関係者同士との情報交換会を定期的に実施している施設もありました。お互い顔を合わせ、連携を図ることで、より一層信頼関係の構築に役立ち、患者さんやご家族が望む在宅医療へ繋がっていると感じました。

今回、このような機会に参加することが出来、有意義な時間を過ごすことができました。今後、仙台北支部のネットワークが広がることを願い、今後も参加していきたいと思います。

## ※※※※※ 令和6年度宮城県看護協会仙台北支部役員一覧 ※※※※※

令和6年3月23日現在

役員・委員名	氏 名	職 能	施 設 名	新・継
副支部長	佐々木 三千代	看護師	東 北 公 济 病 院	継
書 記	佐 藤 早 苗	看護師	内 科 佐 藤 病 院	継
	坂 井 舞	看護師	東 北 大 学 大 学 院	新
会 計	岩 石 裕 子	看護師	東 北 大 学 病 院	新
	金 野 明 子	看護師	仙 台 赤 門 短 期 大 学	継
職能委員	古 戸 香 世	看護師	貝 山 中 央 病 院	継
	櫻 井 奈 美	看護師	仙 台 厚 生 病 院	継
	大 累 美 佳	助産師	東 北 大 学 病 院	継
	佐 藤 晃 子	保健師	東 北 福 祉 大 学	新
	大 西 あ き	看護師	内 科 佐 藤 病 院	新
	小 室 貴 彦	看護師	東 北 大 学 病 院	新
教育委員	佐 藤 正 英	看護師	東北福祉大学せんだんホスピタル	継
	村 上 大 介	看護師	東 北 文 化 学 園 大 学	継
	菅 野 真 貴	看護師	東 北 公 济 病 院	継
	飯 間 美 香	保健師	仙 台 市 健 康 福 祉 局 健 康 政 策 課	継
	只 野 理 乃	看護師	東 北 大 学 病 院	新
	升 川 研 人	看護師	東 北 大 学 大 学 院	新
推薦委員	巣 岩 美 之	保健師	宮城県保健福祉部精神保健推進室	継
	伊 藤 紋	助産師	東 北 公 济 病 院	新
	浅 沼 寛 子	看護師	仙 台 厚 生 病 院	新

新型コロナウイルスも昨年5月に5類へ移行し、令和5年度は様々な活動を通して、会員の皆様と直接交流できることの貴重さを改めて実感することができた1年でした。令和6年度も、皆様のお力をお借りして活動してまいります。ご協力の程よろしくお願ひいたします。

仙台北支部 副支部長 佐々木 三千代